

妻や恋人などの気持ちを無視して、自分の意志に従わせて思いどおりにしようとすることは暴力です。

「暴力」には、なぐる・けるだけでなく、暴言を吐く、行動や金銭を制限する、望まない性行為を強要することも含まれます。

女性に暴力をふるう男性からは、「逆らったから」「口答えをしたから」などの理由が出てきます。相手が妻なら、恋人なら、女性なら「男性の言うことを聞くのはあたり前」「男はそれくらいのことをしてもよい」のでしょうか。そんなことはありません。

「どうしたらいいの?」「もう暴力からぬけさせない…」と思っているあなた、一人で抱え込まないで勇気を出して相談してください。

暴力を受けているあなたへ

こんなふうに考えていませんか。

「家庭の恥を外に出してはいけない」

「自分が悪いのでは」

「自分さえがまんすれば」

「子どものためにも」



「わたし一人では何もできない」という無力感に支配されていませんか。

どんな理由であっても、許される暴力などありません。

一人で抱え込んで苦しまないで、まずは相談してみてください。

身近に思いあたる方がいたら

あなたの身近なところで、DVと思われる事態は起こっていませんか。

思いあたる方がいたり相談されたら、「あなたにも悪いところがあるのでは」と被害者を責めないで、被害者を理解する立場で話を聞いてください。あなたの価値観を押し付けては二次被害につながります。当事者が次の一步を踏み出せるよう、耳と心で聞いてください。

そして、この冊子をお渡しください。「一人で悩まないで」と相談機関に連絡するように勧めてください。

なぐられても仕方ない人間なんて いません！

パートナーからの暴力は、決して暴力を受ける側が悪いからではありません。また、暴力を受ける側の努力で改まるものでもありません。

～身体に対する暴行を受けた女性～

27人 / 100人

“なぐったり、けったり、ものを投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた”ことが『あった』女性は26.7%もおられます。

(内閣府「男女間における暴力に対する調査」平成18年4月公表)



女性の心や身体を傷つけるものは「暴力」です！

ドメスティック・バイオレンス (DV)・・・

夫や恋人など親密な関係にある男性が、女性の安心した気持ちを奪うことをドメスティック・バイオレンス (DV) といいます。

DVは女性を自分の思いどおりにしようとする事です。女性の安心した気持ちを奪うことです。

あなたは、彼といっしょにいて、安心した気持ちですか。

もし、あなたが

- ・怖い思いをしていたら
- ・相手が怖くて、あなたのしたいことができなければ
- ・相手が怖くて、したくないことをしなければならぬなら

・・・それはDVです。



DVは女性に恐怖を与え、自由と安心を奪います。

暴力はあなたが悪いからではありません！

DVはなぐる、けるなどの暴力だけでなく、脅したりして安心を奪ってればそれは暴力なのです。

「おまえはバカだ」「何もできない、どうしようもないやつだ」などと言ったり、外とのつきあいをさせないことも暴力です。

女性を思いどおりにするために、様々な手段が使われます。例えば、こんな方法を使って女性をコントロールします。

- **なぐる、ける**・・・身体に向けられる暴力。ものを投げつけたり、首をしめられたりすることもあります。
- **暴言を吐く**・・・精神的な暴力です。脅す、ののしる、無視する。言葉を使った暴力のほか、大切なものを壊し気持ちを傷つけることもあります。
- **行動を制限する**・・・社会とのつながりを断ち、女性を孤立させるような社会的な暴力です。電話やメールなどの行動を見張ったり、親や友人とのつきあいをさせないこともあります。
- **金銭を制限する**・・・経済的な暴力です。仕事をさせなかったり、生活費を渡さなかったりし、自由を奪います。
- **子どもをまきこむ**・・・自分の言いたいことを子どもに言わせたり、子どもに暴力をふるうことでコントロールしようとするなど、子どもを利用した暴力です。DVを子どもに見せることもそのひとつです。
- **性に関して**・・・性に関することで心や身体を傷つける暴力です。妊娠や中絶に無関心であったり、それらの責任を放棄する、避妊に協力しない、セックスの強要などの暴力です。

暴力にはいろいろなかたちがあり、多くの場合は上記のようなことが組み合わされます。



DVは犯罪です。DV加害者は犯罪者です。



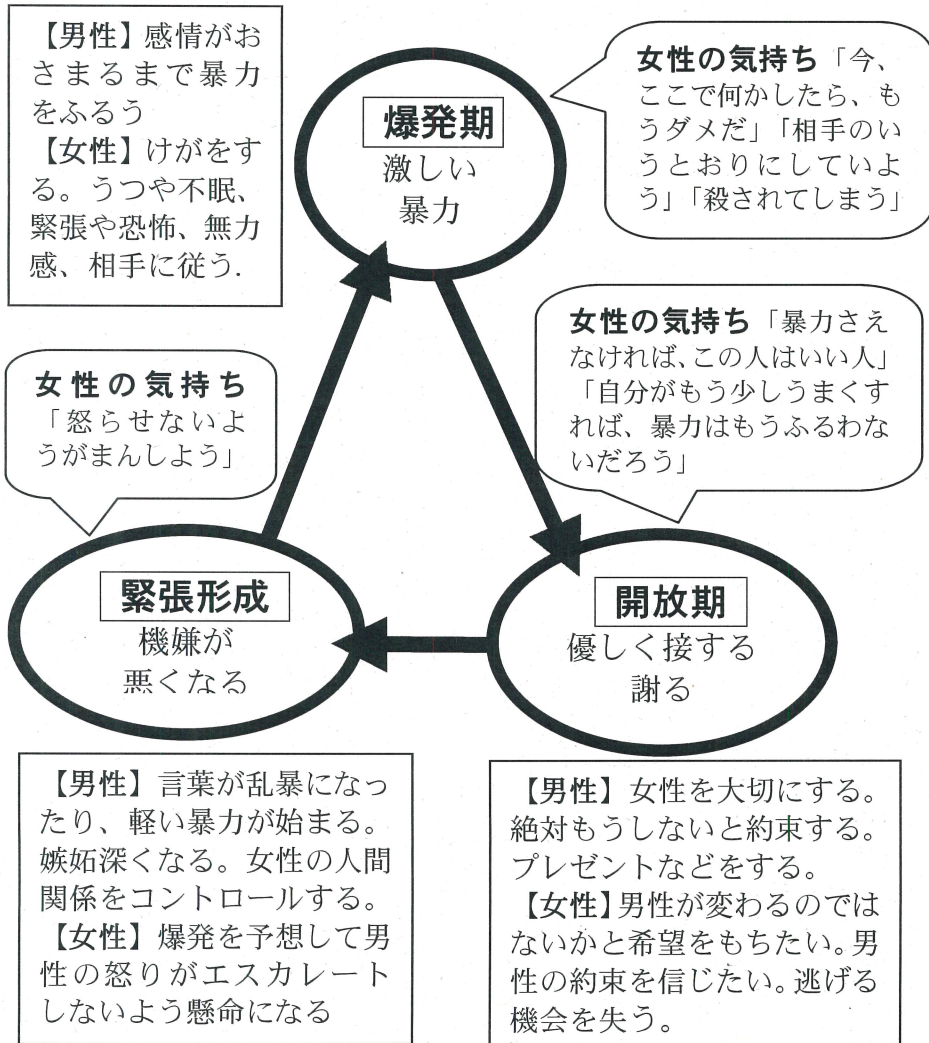
DV加害者は、いつも暴力をふるうわけではありません。DVにはサイクルがあります。そして暴力は繰り返されていきます。

優しいときもある…DVにはサイクルがあります

全ての人に当てはまりませんが、この図のようなサイクルでDVの被害を受ける女性が多くいます。

男性が暴力をふるうので、女性が男性を怒らせないように気をつけていても暴力は繰り返されます。

暴力のサイクルを繰り返すにつれ、暴力と暴力の期間が短くなり、暴力が激しくなることがあります。



暴力をふるう男性は特別な人？

職場や地域では人あたりがよかったり、優しくかったりする人もいて、妻や恋人以外には暴力的でない人もいます。暴力をふるう男性は、相手を選び、自分で暴力をふるうという手段を選んでいきます。



なぜ自分から逃げないの？ 女性一人では解決できません

被害を受けている女性が逃げ出せない理由として、経済的な問題、住居の問題、子どもの問題、長期間に及ぶ暴力のため気力を失うといった多くの困難な原因があります。

また女性を支配下に置き、様々な手段でコントロールするため、自分ひとりでの解決はとても難しいのです。

加害者を更正させられないの？

暴力をふるわなくなることはまずありません。夫や恋人が変わるということは、現在の日本や世界のプログラムでは、今のところ期待できません。

なぜなら、**暴力をふるう加害者**は、暴力を嗜好する人たちであって、**罪の意識はない**からです。

妻や恋人を自分の所有物と考えており、「妻がそう仕向けた」と責任を転嫁し、逆に自分が被害者だと考えます。

加害者意識がないため、当然更正しようという意志はありません。

